

令和8年度

佐賀大学大学院
学校教育学研究科入学試験問題
筆記試験

解答上の注意事項

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 「解答始め」の合図があったら、すべての解答紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 3 問題の解答は、別に指示がある場合を除き、所定の解答欄に記入すること。
- 4 問題紙及び答案紙は持ち帰ってはならない。
- 5 その他、監督者の指示に従うこと。

令和 8 年度佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)入学者選抜試験

受験番号					
------	--	--	--	--	--

筆記試験 試験問題

問1

現在の学校では不登校や不登校傾向の子ども、特別な支援を必要とする子ども、特別な才能を有する子ども、外国にルーツを持つ子ども等が増加傾向にあり、多様化してきている。そのような中で「自立した学習者」を育てるため、これからどのような授業を実践すればよいか、以下の3つの語句を用いて述べなさい。

- ① 指導の個別化(個別最適な学びの教員側の視点)
- ② 学習の個性化(個別最適な学びの子ども側の視点)
- ③ 協働的な学び

問2

令和 4 年 12 月に出された生徒指導提要(改訂版)において、生徒指導の目的は「児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えること」とされている。このような生徒指導の目的を達成するため、学校ではどのような取り組みが必要と考えるか、答えなさい。その際、「自己理解」、「自己指導能力」、「心理的安全性」という3つのキーワードを全て用いること。

出典:文部科学省(2022)『生徒指導提要〔改訂版〕』文部科学省初等中等教育局

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1413002_00003.htm

問3

学校評価をどう組織的に活用すれば、学校改善に活かすことができるか、答えなさい。その際、「校務分掌」、「組織マネジメント」、「PDCA サイクル」という3つのキーワードをすべてもちいること。

令和8年度

佐賀大学大学院
学校教育学研究科入学試験問題
口述試験（場面指導）

解答上の注意事項

- 1 試験問題は持ち帰ってはならない。
- 2 その他、口述試験実施担当者の指示に従うこと。

【場面】

Aさんは最近、遅刻や欠席が増え、授業中も集中できていない様子です。提出物の遅れや、友人関係の希薄化も見られるようになりました。また、これまで熱心に取り組んでいた吹奏楽部を退部し、放課後すぐに帰宅するようになりました。あなたは、Aさんとの面談を通して、Aさんが祖父の介護の手伝いや家事全般を日常的に担っていることがわかりました。

【問題】

あなたは担任として、この状況をどのようにとらえて、どのように対応しますか。

【注意】

あなたが所属または希望する校種に応じて場面を想定し、具体的な対応とその理由について解答しなさい。